

令和7年度 三鷹中央学園 学園・学校評価アンケートまとめ

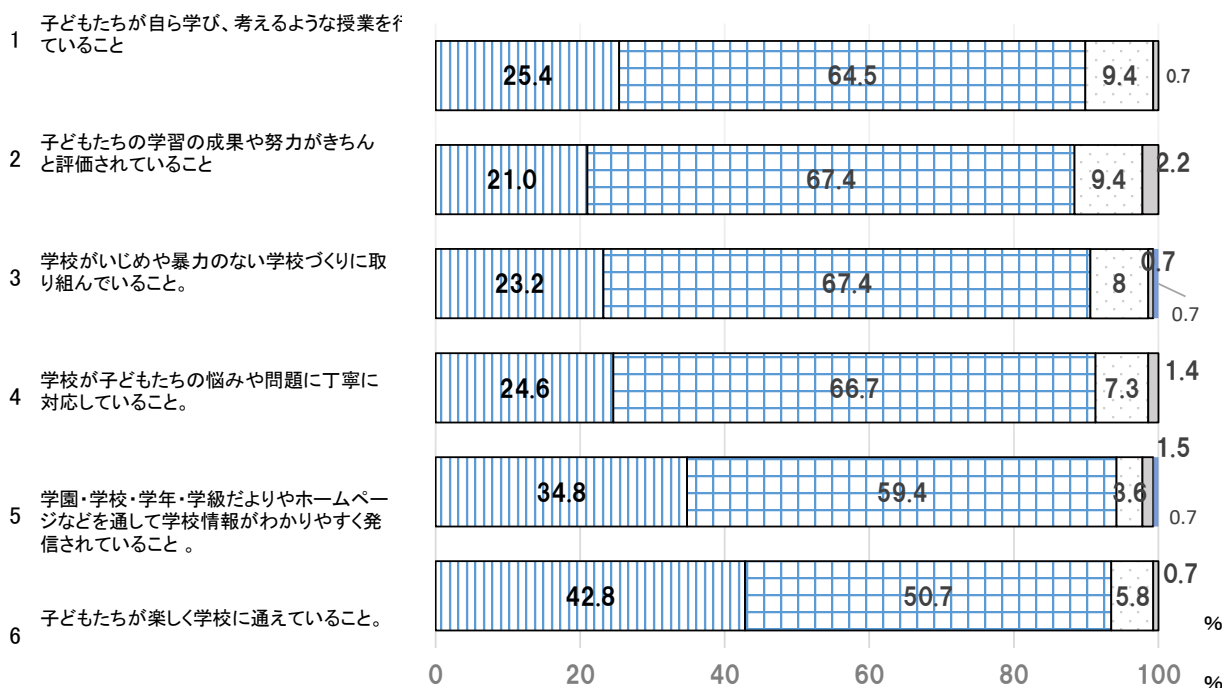
【第四中学校】

資料1-②

アンケート実施日	: 令和7年10月24日～11月4日
アンケート対象者	: 第四中学校保護者
回収率	: 138 / 生徒数385 (36%)

よく出来ている
 大体出来ている
 あまり出来ていない
 出来ていない
 未回答

はい
 いいえ



アンケート結果から得られた成果と課題

※「肯定的回答」…「よく出来ている」「大体出来ている」の合計
 ※「否定的回答」…「あまり出来ていない」「出来ていない」の合計

成果

- 今年度も6項目すべてにおいて肯定的な回答が80%を上回った。また、すべての項目が昨年度の数値を上回り、教職員が生徒に寄り添い、教科指導力や生活指導力の向上に努めてきたことが一定程度評価されたと考える。
- 「学校情報の発信」の肯定的回答が94.3%と最も高かった。今後も学校からの情報発信を積極的に行い、保護者や地域からの理解や協力を得られるように努める。
- 「いじめや暴力のない学校づくり」「生徒の悩みや問題への対応」「楽しい学校」についても肯定的回答が90%を上回っていた。今後も生徒にとって学校が心の居場所になるように、先手必勝のあいさつ(声掛け)、温かみある応援(拍手)を合言葉に、仲間の良いところに目を向けられるように指導していく。
- 授業づくりに関しても、昨年度までの取組について振り返り、教職員一人ひとりが課題意識をもって授業改善に取り組んでいる。今後も校内研究の活性化に努めていく。

課題

- 「自立した学び」の実現に向けて授業改善を進めているが、今後も学習活動への手だての工夫やねらいを明確にした話し合い活動など、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実を図っていきたい。
- 学習の評価に関しても生徒の学習への意欲の高まりや前向きな姿勢につながるようになっていくことが大切である。さらに教職員の研修や校内研究に力を入れていきたい。
- 生徒が安心安全で快適な学校生活を送ることができるように、いじめや長期欠席が続く生徒等への組織的な対応を引き続き進めていく。
- 生徒が悩みや問題を相談しやすい環境をつくるのが大切である。日頃から生徒一人ひとりへの声掛けを大切にし、学校生活アンケートや相談週間等うまく活用して、相談できる大人がいない生徒をゼロにすることを目指していく。
- 学校だよりや学年だより、ホームページなどを通して、学校の情報や生徒の様子をわかりやすく、タイムリーに発信することを今後も続けていく。